

頌椎手術を受けられた方へ

大阪市立大学大学院医学研究科
整形外科学

【研究課題名】

膝靱帯損傷患者に対する靱帯再建術に関する研究

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～2026年3月31日

【研究の意義・目的】

膝靱帯損傷はスポーツ外傷や交通事故などの高エネルギー損傷で発生する。膝靱帯損傷膝の長期保存療法によって変形性膝関節症の発症率が上がることが言われており、膝不安定性を呈する患者に対しては靱帯再建術が考慮される。膝靱帯再建術の過去は関節切開による再建術であったが、関節切開する事の高侵襲のため、近年は関節鏡による低侵襲手術が主流である。手術方法は様々な方法があるが、最近では靱帯付着部の位置に正確に骨孔を作成する方法がより成績が良好であるという報告が散見されるが、正確な骨孔位置を同定することは術者間に差があり、成績のばらつきに寄与する可能性がある。今回の目的は、靱帯損傷患者に対する当院で行っている靱帯再建手術の術前評価、術式、術後評価を行うことにより、当院の手術成績を評価する事である。

【研究の方法】

靱帯損傷患者に対してレントゲン、MRI 検査、KT-2000 による靱帯不安定性評価をする。手術が必要な患者は手術を施行し、術中所見をカルテ記載する。術前、術後にCTを撮像する。術後診察とレントゲン、MRI 検査、KT-2000 による靱帯不安定性評価し、通常診療における臨床評価スコア、変形性関節症などの変化、靱帯治癒状態を臨床評価する。再手術を要する患者に対して、関節鏡視下にて関節内病変を観察する。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 橋本 祐介

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 整形外科学教室

電話 06-6645-3851

FAX 06-6646-6260

E-mail s.dohzono@med.osaka-cu.ac.jp